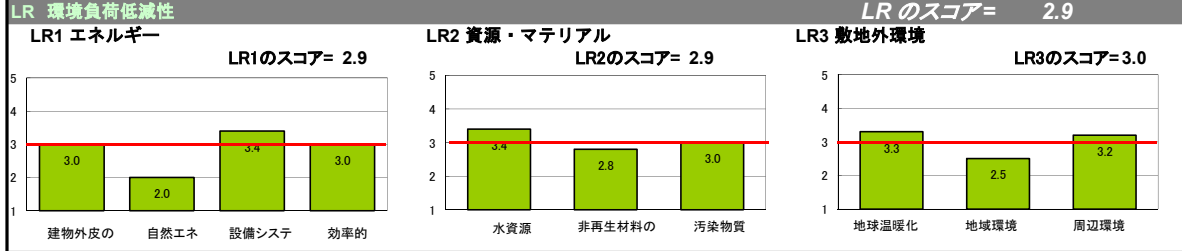
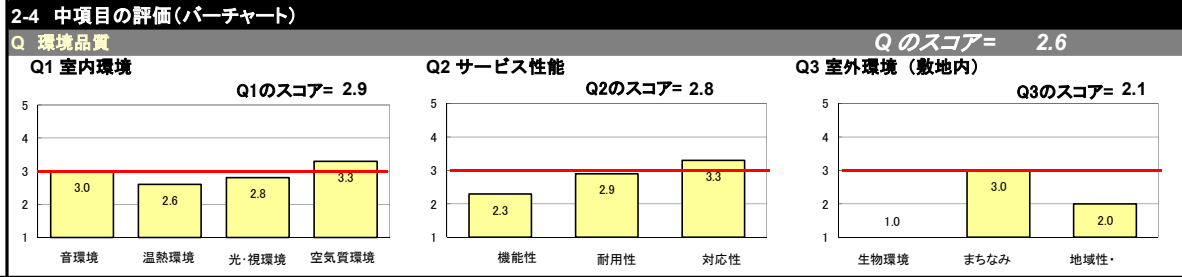
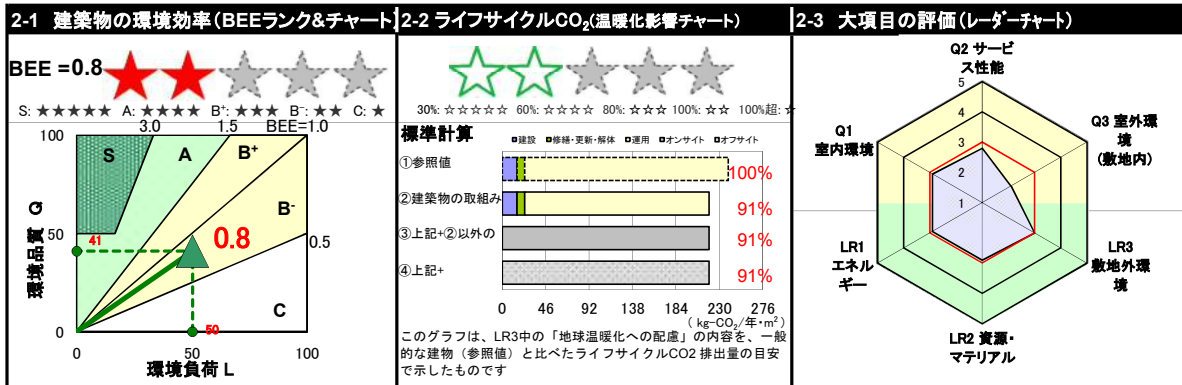


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日進市岩崎町竹ノ山寮プロジェクト	階数	地上7
建設地	日進市岩崎町竹ノ山149-104、149-	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	150 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	1900年1月 予定	評価の実施日	2017年5月12日
敷地面積	3,605 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	643 m <sup>2</sup>	確認日	2017年5月12日
延床面積	3,965 m <sup>2</sup>	確認者	



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.3</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体
		<p><b>Q 建築物の環境品質</b></p> <p><b>Q1 室内環境</b></p> <p><b>1 音環境</b></p> <p>1.1 室内騒音レベル</p> <p>1.2 遮音</p> <p>1 開口部遮音性能</p> <p>2 界壁遮音性能</p> <p>3 界床遮音性能(軽量衝撃源)</p> <p>4 界床遮音性能(重量衝撃源)</p> <p>1.3 吸音</p> <p><b>2 温熱環境</b></p> <p>2.1 室温制御</p> <p>1 室温</p> <p>2 外皮性能</p> <p>3 ソーン別制御性</p> <p>2.2 湿度制御</p> <p>2.3 空調方式</p> <p><b>3 光・視環境</b></p> <p>3.1 昼光利用</p> <p>1 昼光率</p> <p>2 方位別開口</p> <p>3 昼光利用設備</p> <p>3.2 グレア対策</p> <p>1 昼光制御</p> <p>3.3 照度</p> <p>3.4 照明制御</p> <p><b>4 空気質環境</b></p> <p>4.1 発生源対策</p> <p>1 化学汚染物質</p> <p>4.2 換気</p> <p>1 換気量</p> <p>2 自然換気性能</p> <p>3 取り入れ外気への配慮</p> <p>4.3 運用管理</p> <p>1 CO<sub>2</sub>の監視</p> <p>2 喫煙の制御</p> <p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p><b>1 機能性</b></p> <p>1.1 機能性・使いやすさ</p> <p>1 広さ・収納性</p> <p>2 高度情報通信設備対応</p> <p>3 バリアフリー計画</p> <p>1.2 心理性・快適性</p> <p>1 広さ感・景観 (天井高)</p> <p>2 リフレッシュスペース</p> <p>3 内装計画</p> <p>1.3 維持管理</p> <p>1 維持管理に配慮した設計</p> <p>2 維持管理用機能の確保</p> <p><b>2 耐用性・信頼性</b></p> <p>2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>1 耐震性(建物のこわれにくさ)</p> <p>2 免震・制震・制振性能</p> <p>2.2 部品・部材の耐用年数</p> <p>1 躯体材料の耐用年数</p> <p>2 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>4 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>5 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>6 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>2.4 信頼性</p> <p>1 空調・換気設備</p> <p>2 給排水・衛生設備</p> <p>3 電気設備</p> <p>4 機械・配管支持方法</p> <p>5 通信・情報設備</p>												
					3.0	3.0	0.40	3.0	3.0	1.00	-	-	2.6	2.9
					3.0	3.0	0.15	3.0	3.0	1.00	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	1.00	3.0	3.0	0.30	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	3.0	3.0	0.30	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	3.0	3.0	0.20	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	3.0	3.0	0.20	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	3.0	3.0	0.20	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	3.0	3.0	0.20	-	-	3.0	3.0
					2.6	3.0	0.35	2.6	2.6	1.00	-	-	2.6	2.6
					3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.63	3.0	3.0	0.63	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.38	3.0	3.0	0.38	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					1.0	3.0	0.20	1.0	1.0	0.20	-	-	1.0	1.0
					3.0	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.25	2.8	2.8	1.00	-	-	2.8	2.8
					3.0	3.0	0.30	2.4	2.4	0.30	-	-	2.4	2.4
					3.0	3.0	0.60	3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	1.0	1.0	0.30	-	-	1.0	1.0
					3.0	3.0	0.40	3.0	3.0	0.20	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.30	3.0	3.0	0.30	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	1.00	3.0	3.0	1.00	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.15	3.0	3.0	0.15	-	-	3.0	3.0
					3.0	3.0	0.25	3.0	3.0	0.25	-	-	3.0	3.0
					3.2	3.3	0.25	3.3	3.3	1.00	-	-	3.3	3.3
					4.0	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63	-	-	4.0	4.0
					4.0	4.0	1.00	4.0	4.0	1.00	-	-	4.0	4.0
					2.0	2.3	0.40	2.3	2.3	0.38	-	-	2.3	2.3
					3.0	3.0	0.50	3.0	3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
					-	-	-	3.0	3.0	0.33	-	-	3.0	3.0
					1.0	1.0	0.50	1.0	1.0	0.33	-	-	1.0	1.0
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					0.30	0.30	-	0.30	0.30	-	-	-	0.30	0.30
					2.8	2.8	0.40	2.0	2.0	1.00	-	-	2.0	2.0
					3.0	3.0	0.40	1.0	1.0	0.60	-	-	1.0	1.0
					-	-	-	1.0	1.0	1.00	-	-	1.0	1.0
					3.0	3.0	1.00	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.30	3.5	3.5	0.40	-	-	3.5	3.5
					3.0	3.0	-	4.0	4.0	0.50	-	-	4.0	4.0
					3.0	3.0	1.00	3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	3.0
					2.5	2.5	0.30	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-
					2.0	2.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-
					2.9	2.9	0.31	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.09	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.08	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.15	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	-
					2.6	2.6	0.19	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-
					2.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-
					2.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-

<b>3 対応性・更新性</b>					3.0	0.29	3.6	3.6	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり					-	-	4.2	4.2	-	0.50
1 階高のゆとり			階高3.35m以上		-	-		5.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ					-	-		3.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり					-	-		3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性					3.0	1.00				-
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17				-
2 給排水管の更新性					3.0	0.17				-
3 電気配線の更新性					3.0	0.11				-
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				-
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	0.30				2.1
1 生物環境の保全と創出		独自③			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.30				2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			1.0	0.50				-
3.2 敷地内温暖環境の向上					3.0	0.50				-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>										2.9
<b>LR1 エネルギー</b>					-	0.40				2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	0.33				3.0
2 自然エネルギー利用					2.0	0.17				2.0
3 設備システムの高効率化			高効率の設備の利用		3.4	0.33				3.4
4 効率的運用					3.0	0.17				3.0
集合住宅以外の評価					-	-				-
4.1 モニタリング					-	-				-
4.2 運用管理体制					-	-				-
集合住宅の評価					3.0	1.00				-
4.1 モニタリング					3.0	0.50				-
4.2 運用管理体制					3.0	0.50				-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	0.30				2.9
1 水資源保護					3.4	0.15				3.4
1.1 節水			節水型便器		4.0	0.40				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60				-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00				-
2 雑排水等利用システム導入の有無					-	-				-
2 非再生性資源の使用量削減					2.8	0.63				2.8
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.07				-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.25				-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		② 独自	-		3.0	0.21				-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					1.0	0.21				-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					-	-				-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	LGS+PB		4.0	0.25				-
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32				-
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68				-
1 消火剤					-	-				-
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50				-
3 冷媒					3.0	0.50				-
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	0.30				3.0
1 地球温暖化への配慮		①	CO2の排出が少なく、地球温暖化への配慮を行っています		3.3	0.33				3.3
2 地域環境への配慮					2.5	0.33				2.5
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25				-
2.2 温暖環境悪化の改善					2.0	0.50				-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25				-
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25				-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25				-
3 交通負荷抑制		独自	適切な量の駐車場・駐輪場		4.0	0.25				-
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25				-
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				-
1 騒音		独自			3.0	0.33				-
2 振動		独自			3.0	0.33				-
3 悪臭					3.0	0.33				-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40				-
1 風害の抑制					3.0	0.70				-
2 砂塵の抑制					-	-				-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30				-
3.3 光害の抑制					4.4	0.20				-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明なし		5.0	0.70				-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30				-

# 重点項目スコアシート

(仮称)日進市岩崎町竹ノ山寮プロジェクト

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.3</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

### ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 日進市岩崎町竹ノ

計画上の配慮事項	
総合	一次エネルギーは省エネ基準を満たし、高効率の設備の利用により省エネを図っています。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を使用し、汚染物質発生に配慮している
Q2 サービス性能	清掃がしやすい床仕上げ材などの配慮をしている
Q3 室外環境(敷地内)	防犯カメラを設置して安全性を高めている
LR1 エネルギー	等級3を満たした建物となっている
LR2 資源・マテリアル	ODP=0.01未満の断熱材を使用し、環境に配慮している
LR3 敷地外環境	適切な量の駐輪・駐車スペースを設置している
その他	なし